

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0272000373		
法人名	社会福祉法人 緑鷗会		
事業所名	玉松ホーム		
所在地	青森県東津軽郡蓬田村大字瀬辺地字山田1番地65		
自己評価作成日	令和4年7月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会		
所在地	青森県青森市大字中央3丁目20番30号		
訪問調査日	令和4年8月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人ひとりの尊厳を大切に、共同生活において、支え合いながら暮らしていくお手伝いを心がけております。 また、医療機関との連携が充実しており、日々の健康管理に加え、看取りを行える体制も整えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍前は村のイベントへの参加や地域住民の受け入れ等を行っている他、昨年は村の災害訓練にも参加し、ホーム全体が地域住民と支え合いながら暮らすことができるよう、理念を反映させたサービス提供に努めている。 また、協力医療機関等との連携のもと、利用者の毎日の健康管理に努め、重度化や終末期にも対応している。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内・外に理念を掲げており、職員は理念を意識しながらケアに取り組んでいます。	ホーム独自の理念を掲げ、職員は利用者が地域とのふれあいや助け合いを大切にしながら、その人らしく暮らしていくことを支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍のため、地域との交流を自粛しておりますが、ホーム便りや運営推進会議の資料等を通じて、ホームの様子等を発信しております。	コロナ禍前は、村のイベントへの参加や地域住民の受け入れ等を行い、交流を図っている。また、ホーム便り等を通じて、ホームの取り組みを伝えている他、昨年は村の災害訓練に参加し、地域と交流を図るための働きかけを行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居希望等で訪問された地域の方々には、介護施設の種類や特徴等について、丁寧に説明するように努めております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍のため、資料配布と電話連絡にて意見等を直接確認し、ホーム運営やサービス向上に活かしております。	コロナのため、現在は役場指導のもと、書面にて運営推進会議を行っており、ホームの活動や身体拘束適正化委員会の取り組み状況等の報告を行い、メンバーから意見や情報をいただいている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月役場を訪問し、村内の情報や資料等をいただいたり、電話やFAX等にて密に連絡をとっております。	役場担当課職員が運営推進会議のメンバーとして参加している他、毎月役場を訪問したり、必要に応じて助言や意見をいただきながら、連携体制を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修への参加や身体拘束適正化委員会を定期的に開催し、職員一人ひとりが身体拘束による弊害を理解して、身体拘束ゼロ対策に取り組んでいます。	身体拘束に関するマニュアル等を整備している他、研修への参加等を通じて職員はその内容や弊害を理解しており、身体拘束は行わない方針でサービス提供を行っている。また、身体拘束適正化委員会を定期的に行い、運営推進会議等で報告している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加や虐待防止委員会の開催にて、入居者様へのケアの見直し、職員のストレスや問題の抱え込み等、虐待に繋がる恐れが無いかを気に向け、虐待防止と早期発見に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修での知識を内部研修にて伝達し、他の職員への周知と理解に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の説明に加え、契約の改訂時や退去時等、必要に応じて入居者様・ご家族様へ丁寧な対応に努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書への苦情受付窓口の記載と、ホーム内に意見箱の設置をしております。また、管理者・計画作成担当者等のヒアリングにて入居者様の要望等を聞き、業務改善に活かしております。	ホーム内外の苦情相談窓口を重要事項説明書に明記している他、玄関に意見箱を設置する等、利用者や家族等が意見や要望や意見を出しやすい環境づくりに努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員ミーティングを開催し、意見交換や業務改善等の話し合いを行い、職員の意見を業務に反映させております。	毎日の申し送りで職員の意見を聞くように努めている他、毎月のミーティングでは職員一人ひとりに必ず要望や意見を出していただいている。また、出された意見等は必要に応じて速やかに対応し、ホームの運営等に反映させる体制である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営基準法に則って条件を整え、就業規則にて守られております。また、年2回の健康診断や検便検査の実施等にて、職員の健康保全に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりに必要な研修への参加を促し、レポート提出や研修発表を通し、職員のスキルアップを図りながら、業務への反映に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍のため、他施設との交流等は行われておりませんが、必要に応じて、情報交換や行政からの情報等にて、サービスの質の向上に繋がられるように努めております。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望者様との面会時には、ホームでの生活への不安やニーズを汲み取り、安心していただけるよう、丁寧に説明することを心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の相談等がありましたら、できる限り時間をかけ、ご家族様の不安や要望を汲み取り、懇切丁寧にホームでの生活等の説明を行うように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて、地域包括支援センター等の関係機関との連携を図り、他のサービス機関に移行する支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アセスメントや生活状況等から残存機能等を把握し、食事の下拵えや掃除、洗濯物畳み、趣味活動等を通じて、日々の生活で支え合う関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム便り等にて、入居者様の日々の様子等を担当職員がコメント記入して送付しています。また、必要に応じて、電話や自宅訪問をして情報共有を図り、ご家族様や入居者様の思いを把握して、絆を崩さないように支援してます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居に際しては、事前に今までの人付き合いや入居後のビジョン・要望等を確認し、大切な方々との関係や馴染の場所への外出等の支援に努めております。	利用者がこれまで関わってきた人や場所との関わりを継続できるよう、職員は入居時のアセスメントや日々のコミュニケーションを通じて情報収集し、共有している。また、電話の取り次ぎや年賀状の代筆、馴染みの理容院等に出かける等、支援に努めている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様間のトラブルが生じた際は、お互い影響が及ばないよう、職員が双方の話を十分に聞き、お互いを理解していただけるように配慮・サポートしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自宅や他施設等への転居希望者様に対しては、ご家族様や担当ケアマネジャーと情報共有を図り、経過のフォローや相談等の協力を努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様との日々の関わりやコミュニケーションを通して、ご本人が思っている事や抱えている問題等を汲み取り、希望に沿えるよう、支援に努めております。	ミーティングで職員間で話し合い、利用者の視点に立って、思いや意向を把握するように努めている。また、家族等からも情報収集し、より良いケアに反映されるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、ご本人やご家族様、担当ケアマネジャー等から生活歴や生活環境、既往歴、性格、趣味等を確認・記録し、職員間で共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりのアセスメント表を基に、心身の状態や一日の過ごし方、残存能力を活かした取り組み等、サービス提供にて状態把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の作成にあたっては、ご本人の意向を重視し、ご家族様や必要な関係者から情報収集し、職員で話し合いの上、作成しております。	利用者がその人らしく暮らし続けることができるよう、可能な限り利用者の話を聞くに努め、利用者一人ひとりに合った介護計画を作成している。また、家族等の意向に変化がないか、面会時等に意見、要望を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や訴え、健康状態、気づき等を記録すると共に申し送りし、介護計画の見直しに活かす等、日々のケアへの反映に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々入居者様のニーズ(買い物・外出・通院等)にできる限り対応を図ると共に、既存のサービスに捉われず、医療連携体制を整えております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため、地域との関わりはないに等しいですが、村内をドライブして四季を感じたり、馴染みのある景色を見て楽しんでいただいております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の月3回の往診や、希望により専門医を受診しております。また、訪問看護師との連携により、24時間の連携体制を整えております。	利用者のこれまでの受療状況を把握し、適切な医療機関を受診できるように支援している。また、協力医療機関の月3回の往診や訪問看護ステーションとの24時間の連携体制等も整えている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の健康状態報告と月2回の訪問看護にて、情報共有を図ると共に、24時間の連絡体制にて、入居者様が適切な看護や受診ができるよう、体制を整えております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との連携により、安心して治療ができる環境となっております。また、入院した際は退院に向けた治療方針等、かかりつけ医や看護師から、ご本人・ご家族様へ説明・相談する体制が整っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期対応について、ご本人・ご家族様の意向確認や相談を確認し、かかりつけ医と連携を図りながら支援する体制を整えております。	重度化や終末期の対応について指針を掲げ、ホームの方針を明確にしている。ホームでは協力医療機関の協力のもと、医師の指示に従い、可能な限りの支援を家族と話し合い、チームとして支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部・内部研修や看護師との連携により、急変や事故発生時に備えております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回(日中・夜間)の避難・消火訓練・発電機やバルーンライト機器の使用訓練、また、自然災害を想定した訓練を実施しており、避難経路を確認しています。	マニュアル等を整備し、火災と自然災害、夜間も想定した訓練を定期的に行っており、時間も図りながら、職員と利用者が一緒に取り組んでいる。また、村の避難訓練にも参加している他、災害発生時に備えて、寒さをしのげる物品や1週間分の食料や飲料水等を用意している。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの尊厳・人格を尊重し、プライバシーに配慮したサービス提供に努めております。また、日頃より声かけやコミュニケーション等の接遇について、注意を呼びかけてます。	職員は利用者の尊厳を大事にしており、否定をせず、利用者の話を聞くように努めている。また、利用者の羞恥心やプライバシーに配慮した声かけやケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自己決定できるような声かけを心がけると共に、自己決定を尊重し、支援に努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりのペースを大切にし、希望を取り入れながら、穏やかに過ごしていただけるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの理髪店を利用されたり、服装等においてもご本人の意見を尊重し、対応しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事等で入居者様の希望をとり、買出しで品物を一緒に選ぶ等しています。また、調理の下準備や片付け等の手伝いをしています。	法人の栄養士が作成した献立を基に、職員は利用者の好き嫌いや禁止食を把握して、その都度代替食で対応する等、利用者一人ひとりに食事を楽しんでもらえるように配慮している。また、利用者の状況や意思に応じて、食事の準備や後片付け、食材の買い出し等を職員と一緒にしている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本献立は栄養士が作成しており、栄養バランスがとれた食事の提供ができてます。また、入居者様一人ひとりの状態により、形態工夫や小まめに水分補給を促す対応をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨き・うがいを促し、自力で行うことが困難な入居者様に対しては口腔ケアを実施し、清潔保持に努めております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンをみて、トイレへの声がけや誘導等の支援を行っています。リハビリパンツや尿取りパット等の使用については状態を見極め、職員で話し合い、ご本人・ご家族様に説明をして検討・対応を図っております。	職員は利用者の排泄パターンを把握して適切な誘導を行っている他、ミーティング等でも話し合う時間を設け、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。また、排泄介助時は利用者のプライバシーに配慮し、さりげない支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維類や水分摂取・運動等を取り入れても排便コントロールが上手いかない時は、医師や看護師に相談し、対応を図っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	入浴の順番や入浴日、入浴剤等を変え、気分転換をしていただけるように工夫すると共に、拒否された時等は日を改める等、臨機応変に対応しております。	利用者が気持ち良く入浴できるよう、日々のコミュニケーションから好み等を把握している。また、入浴の時間帯や順番等、できる限り利用者の意向に対応するように努めており、入浴剤等も工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心配事等で不安が生じている場合はご本人の話を傾聴し、安心していただけるよう、環境整備に努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人ひとりの投薬内容書は保管しており、薬の変更があった時は、効能と副作用の申し送りと服用後の状態観察の申し送りをし、情報共有をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	支援については、ご本人・ご家族様と話し合い、ご本人の決定を重視しております。また、洗い物や盛り付け、洗濯物畳み等、無理のない範囲で役割を持っていただいております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣施設や店に出かけたり、自宅や墓参り、ホーム周辺の散策等をしております。また、季節に応じてドライブに出かけております。	日常的に天気の良い日は敷地内を散歩したり、椅子を出して日向ぼっこする等、利用者の気分転換につながるように支援している。また、コロナ禍前は四季を感じられる外出を実施する等、必要に応じて家族の協力も得ながら取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近くの店に出かけ、ご本人が欲しい物を選び、支払いできるように援助しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙等が来た時はご本人に渡し、出す時等も代筆しております。電話をかけたい時はホールまたは自室にて、職員が電話番号を押しています。最近は携帯電話を持参されている方もいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の装飾、園庭のプランター設置等にて、入居者様に季節を楽しんでいただけるよう配慮する等、環境づくりを心がけております。	ホールには畳敷きの小上がりがあり、ソファや椅子も並べて、利用者が家庭的な雰囲気の中でゆっくり過ごせるようにしている。また、季節が感じられる手作りの作品や行事の写真等も飾っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内にはソファやテーブル、テレビ等を配置しており、入居者様同士や個人で過ごせるように配慮しております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様・ご家族様には愛用品等の持ち込みをお願いしておりますが、持ち込みが少ない入居者様であっても好みに配慮し、少しずつ居心地の良い空間となるように工夫しております。	利用者が居室で居心地良く過ごせるよう、馴染みの物の持ち込みを働きかけており、愛用品の椅子やラジオ、縫いぐるみ等の持ち込みがある。また、利用者の意向を確認しながら、利用者一人ひとりに合った居室作りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーとなっておりますので、歩行困難の入居者様はじめ、車椅子の入居者様も自由に移動可能です。また、入居者様に合わせ、環境整備に努めております。		